

授業における学校図書館の利活用

三重県 三重県立鳥羽高等学校

基本データ

所在地	鳥羽市安楽島1459
児童生徒数	193人
教職員数	29人
蔵書数	23,175冊
年間貸出冊数	2,905冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】授業改善、教員による利活用の推進

【活動のねらい】

- 各系列の学習内容に対応した図書資料の充実や、教員と学校司書が連携した取組によって、学校図書館が生徒の学習ニーズに対応した「学習センター」としての機能を発揮し、生徒たちの主体的・対話的で深い学びの実現に寄与すること

取組・活動の概要

- 三重県立鳥羽高等学校は、1学年2学級規模の総合学科で、観光ビジネス・スポーツ健康・総合福祉・文理進学の4系列を設定している。
- 学校図書館では、各系列の学習内容を踏まえて図書資料の充実を図るとともに、生徒からのリクエストに積極的に対応。
- 看護・福祉、商業などの専門教科の授業だけでなく、国語、地理歴史、公民、数学、英語、家庭、保健体育などの共通教科の授業についても、教員と学校司書が連携し、学校図書館を積極的に活用している。

取組・活動の工夫や特徴

- 学校図書館を活用した授業については、教員と学校司書が事前打ち合わせを行い、必要な図書資料を検索したり、他の学校図書館や公立図書館から借り受けたりしている。
- 学校司書が図書資料を手に取りやすいレイアウトで別置するとともに、授業の中で適切な図書資料を紹介する支援（フロアワーク・レファレンス）を行っている。

取組・活動の成果や今後の展望

- 三重県立鳥羽高等学校は、生徒一人あたりの貸出冊数と生徒の貸出利用率（在校生のうち年に1冊以上借りた生徒の割合）について高水準を維持している。

- 学校図書館を活用した授業時間数、他館からの借受け冊数、レファレンス件数などについても高水準を維持している。
- 今後とも、学校図書館の活用を推進するとともに、ビブリオバトル（書評合戦）や読書週間キャンペーンなどを通して、生徒の読書活動を多面的に推進していく。



秋の読書週間の活動の様子



秋の読書週間の活動の様子